

胃ろう 抗がん剤 延命治療はいつやめますか？

医師 長尾 和宏

「平穏死」10の条件
著者 長尾 和宏より

2012年11月2日

平穏死とはその言葉の通り、
「平穏に最期を迎える」ということです。
自然に穏やかにあの世へ旅立っていく。
死を先延ばしにする延命治療を受けないという選択肢もある。
しかし現実には、不治かつ末期の状態でも延命治療が行われ、
よけいに苦しむ場合が多い。
どうすれば平穏死できるのか？
全て本音で話します。

自分の最後は自分で決める！

ブックマン社

03-3237-7777 〒101-0065 千代田区西神田3-3-5
(お近くの書店にない場合はお電話ください 定価は税込)

読者から反響の声が続々！

「どんな最期を迎えたいか、自分でイメージしておくことが大切だと知りました」
「この本をきっかけに末期がんで入院中の母親と本音で話せました」
「胃ろうを勧める医師の本心がようやくわかった」
「父の臨終の数時間前まで透折を続けようとした医師にもう止めて、と言えました」
「在宅医療に切り替えて、自宅で死にたい。その希望が叶いそう」

- ① 平穏死できない現実を知ろう
- ② 看取りの実績がある在宅医を探そう
- ③ 勇気を出して葬儀屋さんと話してみよう
- ④ 平穏死させてくれる施設を選ぼう
- ⑤ 年金が多い人こそ、
リビング・ウィル(生前の遺言)を表明しよう
- ⑥ 転倒↓骨折↓寝たきりを予防しよう
- ⑦ 救急車を呼ぶ意味を考えよう
- ⑧ 脱水は友。胸水・腹水を安易に抜いてはいけない
- ⑨ 24時間ルールを誤解するな！
自宅で死んでも警察沙汰にはならない！
- ⑩ 緩和医療の恩恵にあずかろう

医師
長尾和宏

死ぬ時に、医者はいらない。
病院死500人と在宅死500人とではこんなに違った！

978-4-89308-777-5 四六判 定価1400円

「平穏死」 10の条件

胃ろう、抗がん剤、
延命治療いつやめますか？



10万部突破!

大病院が教えてくれない
延命治療と
在宅看取りの真実

自分の最期は、
自分で決める！